# 釧路湿原自然再生協議会 ニュースレターNewsLetter

No.25

平成31年3月28日

編集・発行:釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

平成31年2月26日(火)、第25回釧路湿原自然再生協議会が開催され、「第9期協議会構成員の公募結果報告」・「第9期会長及び会長代理の選出」・「第8期(後期)協議会の収支報告」・「第24回協議会以降の小委員会開催報告」などの報告や協議が行われました。















## 【第25回協議会開催概要】

「第25回釧路湿原自然再生協議会」が平成31年2月26日(火)、釧路市観光国際交流センター1階大ホールで開催され、構成員138名のうち35名(個人12名,団体16団体,関係行政機関7機関)が出席しました。その他一般の方も傍聴されました。

最初に事務局から第9期協議会構成員の公募結果について報告を行い、第9期協議会の会長および 会長代理の選出がおこなわれました。委員による互選により会長に中村太士委員、会長代理に高橋 忠一委員が推薦され、選任されました。

その後、「第8期(後期)協議会の収支報告」「第24回協議会以降の小委員会開催報告」などが行われ、内容について協議を行いました。

#### contents

- 第9期 協議会構成員の公募結果報告
- 第9期 協議会の会長及び会長代理の選出
- 第8期(後期) 協議会の収支報告
- 第24 回協議会以降の小委員会開催報告
- 中村会長紫綬褒章受章記念講演報告

## 【第25回協議会 出席状況】

構成員	個人	12/68名
	団体	<b>16</b> /47団体
	オブザーバー	<b>0</b> / 1 3団体
	関係行政機関	7/10機関
合 計		<b>35</b> /138名

# 第 8 期 釧 原 然 再 生 協 会 **(1)** 収 が

## 第8期(後期)協議会の収支報告

事務局から第8期(後期)協議会の収支報告を行い、 協議会委員相互で収支内容を確認しました。

#### ■第8期(後期)協議会収支報告

科 目	金額 (円)
第8期前期からの繰越額	285, 315
第8期後期(平成29年12月~平成30年11月)	
1 収支の部	
寄付金(釧路短期大学、サクサクッキー)	10, 000
寄付金(ミュージックサロンたじま)	12, 802
預金利息(北洋銀行)	2
第8期後期収入合計	22, 804
2 支出の部	
第8期後期支出合計	0
第8期後期収支(2019年2月現在)	22, 804
第9期前期への繰越額	308, 119

# 第24回協議会以降の小委員会開催報告

事務局から第20回及び第21回湿原再生小委員会、第22回旧川復元小委員会、第23回土砂流入小委員会、第18回森林再生小委員会、第16回及び第17回水循環小委員会、第5回及び第6回地域づくり小委員会、第31回及び第32回再生普及小委員会の開催概要について報告した後、内容について協議が行われました。

●:会長
●:委員
●:事務局

#### 湿原再生小委員会

質疑はありませんでした。

#### 旧川復元小委員会

質疑はありませんでした。

#### 土砂流入小委員会

#### ■河道安定化対策について

- 久著呂川の河道の安定化対策で、生産量の抑制割合 が対策箇所では70%あるが、湿原流入部で20%にな るのはなぜか。
- 対策は1~2 k mの短い区間の河床低下を抑えるもので、湿原流入部では対策区間上流からのものに加え、途中で流入してくるものも多いためこのような割合になる。
- 効果は、流域全体となると薄くなるとのことである。
- 以前、対策箇所の下流側で河床が低下しているのを 見て、これを止めるのは難しいと感じた。対策区間下 流に帯工を1基設置する計画なのか。
- まだそこまで計画が具体化していない。一番末端の 帯工から400mが河床低下傾向にあるが、河道の拡幅など、工作物を設置せずに対策が取れないか考えているところである。場合によっては、帯工などの構造物を設置することにはなるかもしれない。
- 土地管理上、河道を広げられる余裕はあるのか。
- それも含めて調査、検討を進めているところである。

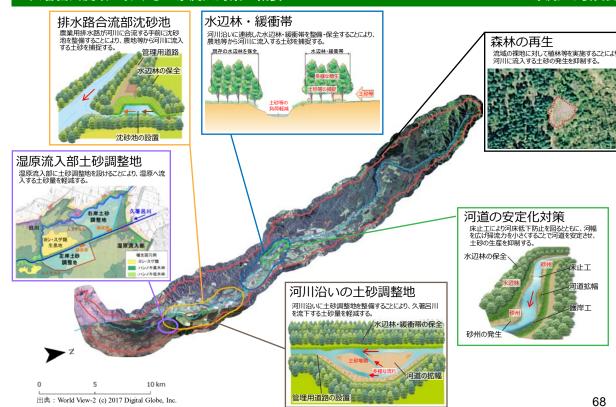
#### ■排水路合流部沈砂池について

- ・ 鶴居村にある排水路合流部沈砂池は自然河川が流入 しないため、土砂の除去をする頻度は想定より少な くなると思う。
- 我々酪農家は、暗渠管を畑に埋設して排水性を良くして草地にしているが、暗渠管から出てくる水は雨水が地面に浸透して出てくるので、決して土砂が混じった汚い水を流しているわけではないないことを、みなさんにご理解頂きたい。



#### 久著呂川流域における土砂流入対策の概要

土砂流入小委員会



#### 森林再生小委員会

#### ■私有林の裸地問題について

- 来年度から施行される森林環境譲与税が私有地の裸地からの土砂抑制対策に使えるようになるのではないかと思っている。森林再生小委員会で私有地の裸地へ植林できないか検討してはどうか。
- その話は森林再生小委員会でもしており、次年度から始まると聞いている。今までできなかった公的な事に使えるようで、私もそういった問題に活用できるのではないかと思っている。しかし、まだ確かではないところもあり、今年3月に開催される森林学会で森林環境譲与税の仕組みについて聞いてこようと思う。森林ふれあいセンターでは今情報を持っていないか。
- これは、市町村が行う森林整備やその促進等、また、都道府県が市町村へ行う支援等に関する費用に充てなければならないとされているが、現在、これらの内容は把握できていない。
- 今後詳細が分かり、お話し頂いたような用途に活用できるなら森林再生小委員会で議論していく。

#### ■雷別地区自然再生事業の効果の評価について

- 森林再生の効果について、シラルトロエトロ川の水を通して何か評価できないか。
- できるとしたら濁り成分だと思うが、そういったもので評価できないか。
- 現状として水質調査を行っておらず、国有林のほか、民有林から出てくるものもあり、評価は行っていない。
- 沢沿いに土砂の供給源があり、そこを止めるのであれば効果が出てくると思うが、現在既にササで覆われ、あまり土砂が発生しない状況になっている。ダイレクトに水質に効いてくるとは考えづらく、面積的にもごくわずかなので、なかなか水質に現れにくいとは思う。調査の予定は無いようだが、また可能な限り森林再生の中で検討して頂ければと思う。

#### 雷別地区自然再生事業箇所位置図



# 全体を通して

#### ●:会長●:委員●:事務局

- 塘路湖とシラルトロ湖は自然にできた大きな沈砂池だと思う。 沈砂池としての効果がある一方、どうしても水深が浅くなって きている。どのくらいの粒径のものが年間どれくらい堆積しているか調べて今後検証してみてはどうか。
- 達古武湖とシラルトロ湖では、私の研究室にいる学生がコアサンプルを取り、土砂堆積スピードの調査を既にしている。だいた

#### 水循環小委員会

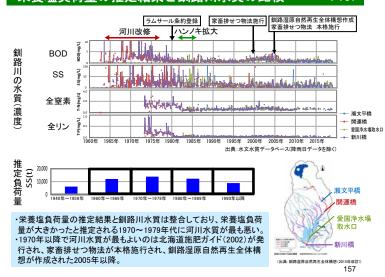
#### ■支川L-Q式と代表L-Q式での推定結果の違いについて

- 支川L-Q式と代表L-Q式での栄養塩年間負荷の推定結果比較で、ツルハシナイ川鶴厚内橋で、SS、全窒素、全リンの比率が他の河川より高く、全リンと全窒素は200%を超えているが、どういうことなのか。
- この地点はH30年度からの観測で、他に比べ標本数が少ない。 今年は出水の規模が小さく、大きな出水時の高濃度データが取れていないため高くなったと考えている。

#### ■土砂や栄養塩の評価について

- P157のグラフは実測値に見えるが、実測値でも負荷量が軽減 されているのか。また、SWATを用いた推測値は、実測値を大体 再現できているのか。
- ・1970年くらいから折れ線グラフの値があるが、過去の値を再 現できているのか、まだ検討が必要な状態なのか。
- 釧路川の水質の折れ線グラフは、青が瀬文平橋、茶色が開運橋、 黄緑が愛国浄水場取水口、紫が新川橋の実測値で、推定負荷量 の棒グラフは、SWATを用いた計算値である。
- ・P157の測定値は平水時の定期調査のもので、高濃度時に測っていないため高濃度時の評価ができていない。推測値が正しいか、近年の高濃度時のL-Q評価をし、過去に遡って検討していくなど、解析の余地があると考えている。
- 全体を俯瞰したときに土砂や栄養塩がどうなっているのかは 大事なデータである。各対策の効果が表れているか、他の小委 員会ではここまではっきりとした結果は出てこないので、その あたりを詰めていってほしい。

#### 栄養塩負荷量の推定結果と釧路川水質の比較 P157



#### ■ 地域づくり小委員会

質疑はありませんでした。

#### 再生普及小委員会

質疑はありませんでした。

い入植後の1860年くらいまで遡れており、樹木が伐採され、土砂が増えていていることが分かっている。森林が流入量を抑えていることは事実で、土砂だけなら問題ないが同時に栄養塩が流入し、達古武湖ではヒシで覆われてしまうなどの問題が起こっている。今度機会があれば、どのくらいのスピードでそれぞれの湖が埋まっているかの資料を出す。

#### ■第24回協議会以際に関催された小委員会の関催概要

■弟24四協議会以降に開催された小安貝会の開催概要				
小委員会名	開催日時	議事		
第20回 湿原再生 小委員会	H30.6.15(金) 13:30~16:00	1. 達古武湖自然再生事業について 2. 平成30年度広里地区自然再生事業に ついて 3. 幌呂地区湿原再生事業等について		
第21回 湿原再生 小委員会	H30.12.4(火) 13:30~15:30	1. 幌呂地区湿原再生事業について 2. 達古武湖自然再生事業について 3. 広里地区自然再生事業について		
第22回 旧川復元 小委員会	H31.1.15(火) 13:30~15:30	1. 茅沼地区旧川復元事業について 2. ヌマオロ地区旧川復元事業について 3. その他		
第23回 土砂流入 小委員会	H30.11.16(金) 13:30~15:30	1. 久著呂川等における土砂流入対策の実施 状況について 2. 久著呂川等における土砂流入対策の効果 について 3. 流域における土砂の発生源対策について		
第18回 森林再生 小委員会	H30.11.27(火) 13:30~15:30	1. 雷別地区自然再生事業について 2. 達古武地域自然再生事業について		

小委員会名	開催日時	議事
第16回 水循環 小委員会	H30.3.13(火) 13:00~15:00	1. 釧路川流域における栄養塩負荷量の検討 結果について
第17回 水循環 小委員会	H31.2.14(木) 13:30~15:30	1. 物質循環モデルの検討について 2. 自然再生施策評価検討 3. 施策への展開
第5回 地域づくり 小委員会	H30.7.2(月) 14:00~16:00	1. 委員の加入および委員長、委員長代理の交代について 2. 委員からの話題提供 3. 地域づくり小委員会アンケート結果について 4. 取組内容について
第6回 地域づくり 小委員会	H30.10.24(水) 13:30~15:30	1. 産業ガイドブック(仮称)づくりへ向けて 2. 今後の進め方について
第31回 再生普及 小委員会	H30.6.21(木) 13:30~15:30	<ol> <li>再生普及小委員会の活動について</li> <li>ウェブサイト等による情報発信について</li> <li>その他</li> </ol>
第32回 再生普及 小委員会	H30.12.14(金) 14:00~15:30	1. 再生普及小委員会の活動報告 2. ウェブサイト等による情報発信について 3. その他

# 釧路湿原自然再生協議会 中村太士会長 紫綬褒章受章記念講演会 ~流域生態系の保全と管理~

釧路湿原自然再生協議会の中村太士会長が、釧路湿原をはじめ長年にわたる研究・特に生態系管理学、森林学、 地形学、生態学に関する一連の優れた業績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績により、平成30年度紫綬 褒章を受章されました。この栄誉を祝し記念講演会が開催されました。

開催日時: 平成31年2月26日(火) 16:30~18:00 開催場所: 釧路市観光国際交流センター1階ホール

出席人数:171名

講演内容:流域生態系の保全と管理

- 1) 地表変動論
- 2) 水辺林の構造と機能
- 3) 流域生態系の保全と管理
- 4) 自然再生事業の実践と評価
- 5) 気候変動とグリーンインフラ



▲協議会会長 中村太士氏 (北海道大学大学院農学研究院 教授)

- ・自然再生協議会を通じて携 わることができた研究の成 果や社会的貢献は、私一人 ではできませんでした。皆 さんに感謝しています。
- ・攪乱は人間から見ると壊れ ているように見えても、生 態系が若返っていくために は必要なことです。
- ・釧路湿原には洪水被害を軽 減する防災力があります。
- インフラを維持していくこ とも大切ですが、今まで自 然が人間に果たしてきたグ リーンインフラとしての役 割を理解し、土地利用を考 えていくべきと思います。





▲釧路湿原自然再生協議会 中村太士会長 紫綬褒章受章記念講演会の様子

流域の生態系の保全と管理について、これまでの中村会長の釧路湿原の研究を中心にお話し頂いたよ!



主催:釧路湿原自然再生協議会事務局・釧路国際ウェットランドセンター

■資料の公開方法 委員会で配布された資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。 ホームページアドレス http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/ggmend0000003ppg.html 回る

■ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。 電話·FAXにて事務局までご連絡ください。



【編集·発行】釧路湿原自然再生協議会 運営事務局 【連 絡 先】TEL(0154)23-1353 FAX(0154)24-6839